



くじ

市議会だより

第 37 号

2014 年
(平成26年)
11月1日発行



久慈市の未来を

かだって！かだって！

(=一緒に)

(=語って)

主な内容

- かだって会議初開催 2～3
- 市議会を読む 9月定例会 4～5
- 委員会の審査から 6～7
- 市政を問う (一般質問) 8～15
- 意見書 16
- 委員会所管事項調査報告 17
- 議会報告会 18

市民と市議会議員が立場を越えて話し合う、「かだって会議」を開催しました。

久慈市の未来を

”気楽に” ”熱く” ”語り合う”



「かだつて会議」を初開催

平成 26 年 8 月 23 日にやませ土風館で「かだつて会議」が開催されました。今回、初の試みとなる「かだつて会議」では、市議会議員と無作為抽出方式で選ばれた市民とが、久慈市の将来について活発に意見を交換しました。

名称の由来は

2つの方言から

久慈市議会では、平成 26 年 3 月に「久慈市議会基本条例（通称…久慈市議会じえじえ基本条例）」を制定し、その中で、意見交換の場を設け市民の意見を議会に反映させるために、市民と議会が協働し市政課題について話し合う「かだつて会議」を設置しました。「かだつて会議」とは、仲間になる、一緒にやるという意味の「かだる」とともに語り合うという意味の「かだる」の、2つの方言から名づけられた名称です。

カフェのような

リラックスした空間

開催にあたっては「ワールドカフェ・スタイル」という形式を採用しました。これは、「カフェ」にいるようなリラックスした雰囲気の中で、小グループ単位で自由に対話をし、話し合いを発展させていく手法です。会場内には BGM が流れ、お茶やお菓子を楽しみながら、気軽に会話ができる雰囲気の中で進められました。

今回の「かだつて会議」の参加者は、幅広く市民の皆さんから意見やアイデアを出していただきたいという狙いから、年齢や性別に偏りがでないように、コンピュータによる無作為抽出で選出された方を中心に構成され、市議会議員も含め総勢 34 名で開催されました。



会議は和やかな雰囲気で行われました

対等な立場での

話し合いを重視

会議の成功には熟練のファシリテーターの存在が不可欠です。そのため、今回のファシリテーターには、ファシリテーション術について精通し、久慈市議会の議会改革のアドバイザーを務めている、佐藤淳先生（青森中央学院大学専任講師、早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員）をお迎えしました。



ファシリテーターの佐藤淳先生

ファシリテーターとは？

会議などの場において、議事進行を務める人のことです。中立な立場を守り、状況を見ながら問題の解決や合意の形成に導く役割をします。参加者の意見を引き出す手腕が問われます。



模造紙に描かれた久慈市の魅力・未来像

話し合いの前には、「問いに意識を集中しましょう」、「対等な立場で話し合しましょう」、「話は短く簡潔に」など、個人の立場にとらわれず、特定の人だけが話しすぎないようにするためのグラウンドルールを全員で確認し、ファシリテーターから出された 3 つのテーマ、①「あなたの知っている久慈市の『じえじえ』」な自慢を教えてください、②「5 年後の久慈市の『じえじえ』」な姿を教えてください、③「『じえじえ』」な久慈市を実現するために、今、議員と市民ができることは」について、7 グループに分かれ対話を行いました。各テーブルに置かれた模造紙には、遊び心あふれるイラストとともに、各テーマに沿ったさまざまな意見などが書きこまれ、参加者の久慈市に対する



参加者の積極的な意見発表

参加者からも高評価

「かだつて会議」実施後の参加者のアンケートの結果でも、「会議に参加して楽しかった」、「次回以降も会議に参加したい。また、ほかの人にも参加を勧めたい」、「議員とも話しをしやすいかった。」など大変高い評価をいただきました。

更なる改善・工夫が

今後の課題

今回の「かだつて会議」の成功の要因として、ファシリテーターの佐藤先生は次の 3 点を挙げました。1 点目は、参加者を無作為抽出方式で選定することで、普段こういう会議に出席しない方々にも参加いただいた点。2 点目は、事前に議員全員で「模擬かだつて会議」を実践し、本番さながらの予行練習を行ったこと。3 点目は、リラックスして対話ができる会場の雰囲気づくりがうまくいった点。を挙げています。今後は、新たなファシリテーターの育成や、開催後の改善を繰り返すことが重要とも述べています。

八重櫻友夫議長は、「今回の会議を通して、意見を交し合うことの大切さ、そのためのルール、雰囲気づくりの必要性を肌身で感じた。今後さらに工夫

を凝らして、誰もが参加したくなるような会にしていきたい。」とコメントしました。



本番さながらの「模擬かだつて会議」の様子

参加者の感想



橋上和司さん

案内文書が届いたときは、何だろうと思ったが、文書から工夫が伝わってきたので、期待をもって参加しました。様々な年代の人と、こういった話をする機会はなかなか無いので、とても楽しく、期待どおりでした。こういう試みは継続が大切だと思うので、今後も多くの市民に参加してもらいたい。出た意見が市政に反映されることがあれば、みんなにとっても良いことだと思います。

平成25年度一般会計歳入歳出決算などを認定



手話での通訳を行う請願者

第19回市議会9月定例会は、8月28日から9月12日まで16日間の会期で開かれました。本定例会では、平成25年度一般会計、各特別会計歳入歳出決算、水道事業会計決算など認定議案9件のほか、平成26年度一般会計補正予算など18議案の市長提出議案と、3件の議員発議案について審議し、すべての議案を認定、可決しました。

平成25年度各会計決算については、決算特別委員会を設置し審査を行いました。一般質問では各会派を代表して5人が、個人で1人の議員が登壇して質問を行いました。また、定例会初日の請願紹介、最終日の委員長報告の際には、議場において手話通訳が行われました。

補正予算

一般会計、各特別会計及び水道事業会計など4件の補正予算は、すべて原案のとおり可決しました。

●平成26年度一般会計補正予算(第3号)

既定の予算額に、歳入歳出それぞれ8億1298万7千円を追加し、総額を264億3523万4千円とするもの

- 三陸鉄道運営費補助金 東日本大震災の運休に関わる赤字補填の補助金 462万4千円
- 保育士等処遇改善事業費補助金 民間保育所の保育士処遇改善に対する補助金 2318万1千円

条例等

- 小袖海女センター建設事業費 センター建設事業費の増 1130万円
 - 平庭高原白樺の樹液活用推進事業費 樹液の活用に向けた、商品開発等 1100万円
 - 津波避難施設整備事業費 津波避難施設の備品等の購入 400万円
- 「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書の提出について
- 「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」継続を求める意見書の提出について
- 消費税10%への引き上げ反対の意見書の提出について
- 久慈市地下水族科学館管理棟改築主体工事の請負契約の締結に関する意見書の提出について

人事

●人権擁護委員候補者に香木正氏(京の森)、三河えり子氏(中央)を推薦することに異議がない意見を付しました。

●「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書の提出について

●「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」継続を求める意見書の提出について

●消費税10%への引き上げ反対の意見書の提出について

詳しくは16ページの「意見書」をご覧ください。

議員発議

3件の議員発議案について可決しました。

●「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書の提出について

●「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」継続を求める意見書の提出について

●消費税10%への引き上げ反対の意見書の提出について

詳しくは16ページの「意見書」をご覧ください。

議案等審議結果

第19回市議会9月定例会

【決算】

- 平成25年度久慈市一般会計歳入歳出決算
- 平成25年度久慈市土地取得事業特別会計歳入歳出決算
- 平成25年度久慈市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 平成25年度久慈市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 平成25年度久慈市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算
- 平成25年度久慈市魚市場事業特別会計歳入歳出決算
- 平成25年度久慈市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 平成25年度久慈市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 平成25年度久慈市水道事業会計決算

【補正予算】

- 平成26年度久慈市一般会計補正予算(専決第1号)の専決処分に関し承認を求めることについて
- 平成26年度久慈市一般会計補正予算(第3号)
- 平成26年度久慈市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成26年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成26年度久慈市水道事業会計補正予算(第2号)

【条例等】

- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- 市営住宅等条例の一部を改正する条例
- 久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その3工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて
- 久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その2工事の請負変更契約の締結に関し議決を求めることについて
- 久慈地下水族科学館管理棟改築主体工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて
- 久慈地下水族科学館管理棟改築電気設備工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて
- 久慈地下水族科学館災害復旧工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて
- 市道路線の認定に関し議決を求めることについて(2件)
- 市道路線の変更に関し議決を求めることについて

【人事】

- 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて(2件)

【議員発議】

- 「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書の提出について
- 「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」継続を求める意見書の提出について
- 消費税10%への引き上げ反対の意見書の提出について

認定=賛成多数	承認=全会一致
認定=全会一致	原案可決=全会一致
認定=賛成多数	原案可決=全会一致
認定=賛成多数	原案可決=全会一致
認定=全会一致	原案可決=賛成多数
認定=全会一致	原案可決=賛成多数
認定=全会一致	原案可決=全会一致
認定=全会一致	原案可決=全会一致
認定=全会一致	原案可決=賛成多数
認定=全会一致	原案可決=賛成多数
認定=全会一致	原案可決=全会一致
認定=全会一致	原案可決=全会一致
認定=全会一致	異議がない意見=全会一致
認定=全会一致	原案可決=全会一致
認定=全会一致	原案可決=全会一致
認定=全会一致	原案可決=全会一致

9月定例会賛否一覧 ※これ以外の案件等は全会一致で可決されています。

議案番号 議席名	審議結果	賛成 対 反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
			梶谷武由	下川原光昭	藤島文男	上山昭彦	泉川博明	木ノ下祐吉	畑中利男	砂川健一	山口利男	桑田鉄男	澤里富雄	中平浩志	小柳正人	堀崎松一	小倉建一	小野寺勝也	城内仲悦	下館祥二	中塚佳男	八重櫻友夫	高屋敷英則	宮澤憲司	大沢俊光	濱欠明宏
平成25年度久慈市一般会計歳入歳出決算	賛成多数	16:6	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	-	○	○	○	●
平成25年度久慈市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	賛成多数	20:2	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成25年度久慈市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	賛成多数	20:2	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	賛成多数	20:2	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	賛成多数	21:1	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
久慈地下水族科学館管理棟改築主体工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	賛成多数	20:1	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
久慈地下水族科学館管理棟改築電気設備工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	賛成多数	20:1	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
久慈地下水族科学館災害復旧工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	賛成多数	20:1	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

※ ○は賛成 ●は反対 欠は欠席 ※ 議長(八重櫻友夫)は採決に加わりません

総務

総務委員会に付託された請願1件を審査しましたので、概要を紹介します。

●消費税10%への引き上げ反対の意見書提出を求める請願

本年4月1日に消費税率が8%に引き上げられ、長引く不況に加え、物価上昇、収入減、社会保障削減の三重苦を強いられており、地域経済を根本から壊す大増税、負担増を到底認めることはできないため、政府に対し意見書の提出を求めるものです。

【質問】消費税の一番の問題点は。

【説明】消費に対して課税することは、生活に対して課税するものであり、税制としてあるべき姿なのかという疑問がある。

また、一般家庭では収支のバランスの問題でもあり、本年は住民税の増税などにより、支出がさらに増えている

ことを実感している。

【質問】中小企業への影響は。

【説明】納税義務者は事業者であり、売り上げが厳しい中で増税はさらに収入が落ち込むことにもなり、多くの事業者は苦慮している。一方で、ある大企業は過去25年間一度も消費税を納税したことがなく、このような状況を改善しないと不公平感が解消されない。

そのほか、議員間討議において、軽減税率の導入の必要性について、増税しない場合の財源確保についてなどの議論が交わされ、採決の結果、全員異議なく採択すべきものと決しました。

教育民生

教育民生委員会に付託された議案2件、請願2件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介します。

●手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願

手話が音声言語と対等な言語であることを国民にひろめ、手話を言語として普及研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定するために、国に対し意見書の提出を求めるものです。

【質問】市内の公共施設に手話通訳ができる人は配置されているか。

【説明】県北広域振興局内には手話通訳者が1人いるが、市役所内には手話通訳をできる人がいない。また、県立久慈病院にも通訳者は配置されていないため、ろうあ者から依頼があった場合には、振興局の担当者が同行している。

そのほか、手話通訳者の資格を取得する流れについて、行政機関への要望などについての質問、説明が交わされました。また、議員間討議では、本請願は聴覚に障がいのある方が暮らしやすい社会を実現するための第1歩として意義のある請願であり、市議会に

おいても力になっていきたいとの意見が出され、採決の結果、全員異議なく採択すべきものと決しました。



教育民生委員会での審査風景

産業建設

産業建設委員会に付託された議案6件を審査しましたので、そのうち2件について概要を紹介します。

●市道路線の認定に関し議決を求めることについて(2件)

一般県道待浜夏井線の整備に伴い、岩手県から久慈市に引き継ぎ協議のあった旧道を市道に認定しようとするものです。

「本波麦生線」は県道待浜夏井線に接続する路線で、延長は2060・4mです。

「本波大橋線」は、県道待浜夏井線と本波麦生線をつなぎ、本波集落に接続する路線で、延長は109・5mです。

【質問】沿線における地すべりや土砂災害の危険性は。

【答弁】路面舗装やガードレール、のり面処理などの維持管理が整っているうえで移管を受けるものである。

【質問】冬期間の除雪の考え方は。

【答弁】「本波大橋線」は県道への最短ルートであり、優先的に除雪を行いたい。また、「本波麦生線」の本波集落から白前交差点までの区間も優先的に行いたい。

議員間討議では、市道の認定にあたっての今後の整備・維持のあり方について議論が交わされ、採決の結果、全員異議なく可決すべきものと決しました。

決算特別

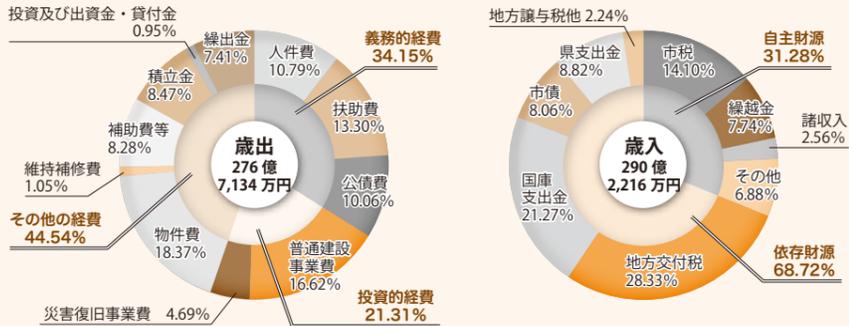
平成25年度の一般会計と7つの特別会計、1つの企業会計の決算を審査するため、議長及び議会選出の監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会（畑中勇吉委員長）を設置し、審査の結果、認定に付されたすべての会計の決算は認定されました。

委員会では正副委員長の選出にあたり、その職を志願する者に所信を表明する機会を与え、投票により決定しました。



畑中決算特別委員長

平成25年度一般会計決算



税の種類	金額	構成比
▶市民税	15億8,386万円	(38.71%)
▶固定資産税	21億2,035万円	(51.83%)
▶軽自動車税	8,243万円	(2.02%)
▶市たばこ税	2億9,672万円	(7.25%)
▶鉱産税、入湯税	792万円	(0.19%)
合計	40億9,128万円	

市民一人あたり 110,197円
(市税の総額÷市の人口)

税の種類	金額	構成比
▶市民税	15億8,386万円	(38.71%)
▶固定資産税	21億2,035万円	(51.83%)
▶軽自動車税	8,243万円	(2.02%)
▶市たばこ税	2億9,672万円	(7.25%)
▶鉱産税、入湯税	792万円	(0.19%)
合計	40億9,128万円	

市民一人あたり 745,316円
(一般会計の歳出総額÷市の人口)

※市の人口=37,127人
(平成26年3月末住民基本台帳人口)

討論

平成25年度一般会計 歳入歳出決算に対する

反対 小野寺勝也議員

第1の理由は、防災公園建設問題。建設場所の変更ができないというその答弁を繰り返し、市政を混乱させた責任は重大である。

第2の理由は、森のトレイル問題。組合は債務を認めながらも事務的整理にも応じない不誠実な対応である。責任の所在を明らかにせよ。

第3の理由は、国保税の問題。負担率を増大させた政府に対し、強く改定を求める。

第4の理由は、後期高齢者医療費制度の問題。お年寄り差別制度の廃止を求める。

反対 梶谷 武由議員

いわて森のトレイル生産協同組合からの債権回収に向けた対応について反対する。

市は組合に対し補助金の返還を求めたが、これまで1円も返還されていない。返還命令が出てからすでに10年以上

が経過しているが、見通しが明らかにされていない。市民・県民が納得できる形での解決策をさぐる必要がある。

震災復興、市民生活向上など、評価すべき事業項目も多々あるが、以上の理由から反対する。

反対 濱欠 明宏議員

第1に、総合防災公園整備事業を引き続き前市長が行えば、膨大な額の予算執行となっていた。平成25年度の執行は、いまだ説明不足である。

第2に、中心市街地の活性化策は、駅前ビルの解体ありきで進められていた。駅東側、西側のアクセスの確保が最優先課題ではないのか。

第3に、森のトレイルの債権回収措置が不十分である。第4に、除雪対策の仕組みを変えたことにより、大事故に繋がる危険性がある。

以上の点から反対する。



●平成25年度一般会計歳入歳出決算

主な質疑

【質問】県立久慈病院の医師

確保の取り組みは。【答弁】医師の確保は大きな課題だと認識している。これまでの県等に対しての、医師確保の要請が主な活動であったが、近隣には地元出身の医師が定着している実績もあるため、当市も積極的に市出身医師・学生に対し地元での勤務を働きかけたい。

【質問】市民総合プールの老朽化が著しいが、改修計画は。【答弁】教育委員会では現在地での改修を考えているが、市長部局との協議が必要である。今後は、公共施設等の総合管理計画策定の中において、市全体の公共施設の方向性について考えていく。

一般質問

代表質問

～市政を問う～



政和会
はまかけ あきひろ
濱欠 明宏 議員

その他の質問項目

- 行政組織の見直しについて
- いわて森のトレー問題について
- 駅前再開発について
- 市道川又橋場線の整備見直しについて
- 新市宮野球場建設について
- 小袖地内の道路の市道認定について ほか

※関連する質問は14・15ページに掲載しています。

公約の市長多選自粛条例の早期提案は

市長一検討を深め12月議会に提案したい

【質問】遠藤市長は、公約である副市長一人制から一人制を早期に実現した。市長多選自粛条例の早期提案も考えているのか。

【答弁】公約に掲げた多選自粛条例の提案については、現在その手続き等について担当で検討を深めており、間に合えば12月議会に提案したいと考えている。

【質問】障がい者や高齢者が利用しやすい市庁舎として、バリアフリー化が喫緊の課題である。当初予算で市庁舎エレベーター設置工事が措置されたが、着手見通しは。

【答弁】本庁舎耐震改修工事と一体で施工することで、7月に株式会社小山組と請負契約を締結し

た。完成は今年度中を目指す。

【質問】遠藤市長の考えとして、現在進めている防災公園の整備場所については妥当とするが、規模を縮小し、後方支援拠点基地とする大きなイメージは持っているか。

【答弁】以前の計画のよ



エレベーター設置工事が始まった市庁舎中央階段付近

うな自衛隊の集結基地等

【質問】復興道路に産直施設の建設が可能と聞か

【答弁】国交省は、6月に無料の高速道路における休憩施設の整備方針

【質問】無料通信アプリによるいじめが問題になる中、親にかわり、いじめや性犯罪等のトラブルを早期に発見・監視するインターネットサービス等を利用した対応策は。

【答弁】ネットいじめは深刻な問題である。ルールや危険性等の情報モラル指導や、保護者のための研修会等を市内全小・中学校で実施している。

【質問】大規模災害時の相互支援や、観光・物産・文化等の交流促進を図るため、国内都市と友好都市協定を結ぶべきでは。

【答弁】市民の相互交流が促進され、市民生活に潤いが期待されるが、協定の締結は相手があることから、これまでのつながりや、新たな都市とのつながりを築き、前向きに取り組む。

を示し、多様なサービスを提供する道の駅整備の考え方も提示した。具体的な整備手法はまだ示されていないが、三陸沿岸道路完成時の交通量の増大をにらんだ道の駅整備は、利用者の利便性や当地域の食などに関する魅力を全国に発信できる大きなチャンスであり、地域活性化の核になるものと期待されることから、積極的に取り組む。

今後、位置や規模、財源を含めた整備手法について、PFI（民間資金を利用して公共施設の整備などを民間にゆだねる手法）など官民連携も視野に入れ、様々な角度から検討を進める。

～市政を問う～

一般質問

代表質問



新政会
なかたい こうし
中平 浩志 議員

その他の質問項目

- 久慈秋まつりについて
- 長内地区土地区画整理事業について
- 水産基盤整備事業について
- 人口問題対策本部について
- 災害対策について
- 市内の飲酒運転の状況と防止策について ほか

※関連する質問は14ページに掲載しています。

国体軟式野球会場地辞退で費用的影響は

市長一経費負担は予想されるが具体的には今後協議する

【質問】国体軟式野球競技場の会場変更に伴い、共催市町村の幹事及び人的・経費的支援を行うこととなるが、具体的な内容と、トータルで各町村に對しどの程度の支援となるのか。

【答弁】本戦会場地辞退で、4町村の試合日数や試合数が増加することから、選手や役員等の送迎や競技役員増加に対する経費の増及び駐車場の誘導等の委託業務に係る経費部分の負担が予想される。

【質問】障がい者や高齢者が利用しやすい市庁舎として、バリアフリー化が喫緊の課題である。当初予算で市庁舎エレベーター設置工事が措置されたが、着手見通しは。

【答弁】国交省は、6月に無料の高速道路における休憩施設の整備方針

【質問】豊かな自然環境で市民が健康で長生きでき、高齢者が安心して生活するため、保健師等を活用して、こまめな地域の指導や学校へ出向き食事の作り方を指導する環境づくりが必要と考えるか。

【答弁】保健師が中心となり、生活習慣病予防等健康づくりの事業を推進しているが、地域の保健推進委員等の協力を得な

【質問】無料通信アプリによるいじめが問題になる中、親にかわり、いじめや性犯罪等のトラブルを早期に発見・監視するインターネットサービス等

【答弁】ネットいじめは深刻な問題である。ルールや危険性等の情報モラル指導や、保護者のための研修会等を市内全小・中学校で実施している。

【質問】遠藤市長は、公約である副市長一人制から一人制を早期に実現した。市長多選自粛条例の早期提案も考えているのか。

【答弁】公約に掲げた多選自粛条例の提案については、現在その手続き等について担当で検討を深めており、間に合えば12月議会に提案したいと考えている。

【質問】復興道路に産直施設の建設が可能と聞か

【答弁】国交省は、6月に無料の高速道路における休憩施設の整備方針



保健師による健康相談の様子

【質問】大規模災害時の相互支援や、観光・物産・文化等の交流促進を図るため、国内都市と友好都市協定を結ぶべきでは。

一般質問

代表質問

～市政を問う～



清風会
こやなぎ まさと 議員
小柳 正人

その他の質問項目

- 総合防災公園整備事業について
- 荒町地区の電線地中化・歩道整備について
- ふるさと納税特産品について
- 高館市民の森整備事業について
- 防災施設の整備計画について
- ラジオの難聴解消について

※関連する質問は15ページに掲載しています。

第2期中心市街地活性化基本計画は

市長―今年度の国庫補助事業の申請は見送る



現在の駅前付近の様子

【質問】 第2期中心市街地活性化基本計画のアンケート結果を踏まえた今後の具体的計画内容は。

【答弁】 今年度予定していた国庫補助事業の申請は見送ることとした。アンケート結果では、当初計画の施設配置、施設機能と違うものを市民は求めていると受け止め

ている。また、駅前ビルについても早期解体を求める声と、「あまちゃん」ブームを考えると、今は解体時期ではないという声もあり、整備計画の策定については丁寧に検討を進める考えである。

【質問】 若者定住促進プロジェクトチームの庁内設置の考えは。

【答弁】 若者の定住促進は、出生数の増加及び生産年齢人口の維持、地域経済の活性化に繋がる好循環を実現するために重要であると考え、各施策を相互に連携させ、全庁的な対策として取り組み、プロジェクトチーム設置についても検討する。

【質問】 旧久慈消防署八日町分室の名称と指定管理者制度による管理体制移行は。

【答弁】 八日町に鎮座する秋葉神社は、火伏せの神様であり、同分室は消防施設として使用されたことから「秋葉館」と命名された。また、指定管理者制度による管理体制移行は、今年度中に施設

【質問】 旧久慈消防署八日町分室の名称と指定管理者制度による管理体制移行は、今年度中に施設

【答弁】 今年度は、用地買収とポンプ室及び流入渠の工事を予定しており、来年度以降、建築工事、機械・電気設備工事を順次進め、平成29年度の供用開始を目標に進める。

公共下水道整備計画は、来年度から、川貫地区の汚水管渠工事に着手する予定である。

～市政を問う～

一般質問

代表質問



創政会
くすだ てつお 議員
桑田 鉄男

その他の質問項目

- 火災発生時の消防団出動命令について
- 国内自治体との姉妹都市締結について
- 市の人口問題対策本部について
- 農作物の野生動物被害について
- 各種健康診断について
- 学校統廃合後の校舎等利活用について

※関連する質問は15ページに掲載しています。

市職員採用にスポーツ枠導入を

市長―必要に応じて検討を進めていく

【質問】 アスリートとしての活動、また、指導者として当市のスポーツ振興に寄与するためにも、市職員の採用にスポーツ枠を検討すべきでは。

【答弁】 現在、当市においては、限られた職員で多様な市民ニーズに対応していかなければならぬ厳しい状況にあるが、今後、スポーツ振興の面など、必要に応じてスポーツ枠の導入などについて検討を進めていきたい。

【質問】 市道堀切南線の改良整備の見直しは。

【答弁】 当該路線は、平成12年度に市道認定された延長506.7mの市道である。改良整備は市道全体の整備状況や財政状況を勘案しながら検討していく。当面は、敷き砂利など路面の適切な維持管理に努める。



早期整備が望まれる市道堀切南線

【質問】 地方分権が進む中、自治の基本理念、主に

【質問】 東日本大震災における津波到達点への看板設置見直しは。

【質問】 久慈街道踏切への歩道設置に向けた取り組み状況は。

【質問】 川貫雨水排水ポンプ場は

【答弁】 JR東日本との協議で、来年度の工事実施に向けて取り組みを進めている。

一般質問

～市政を問う～

個人質問



社会民主党
かじや たけゆき
梶谷 武由 議員

その他の質問項目

- 防災行政無線の難聴解消対策について
- マイマイガの防除対策について
- 駅前再開発について
ほか

【答弁】補助金適正化法に違反したため補助金返還することになった。
組合に対して、現段階での資

【質問】「いわて森のトレー生産協同組合」が国・県の補助金を受けて、木製トレーの生産事業を始めたが事業に失敗し、会計検査院から指摘を受け、国から補助金返還命令を受けた。返還命令がでたら10年以上経過しているが、組合は1円も返還していない。
トリニティ工業株の機械に決定したことや、金融機関から融資を受ける際に抵当権を設定したことは、中小企業等協同組合法や補助金適正化法違反であり、組合や役員の実力が大きい。組合や役員の実績、債権回収に向けた法的処理の検討状況、債権回収に向けた今後の方針は。



協同組合製作の木製トレー

森のトレー補助金回収は

市長―法的手段に訴えて回収に取り組み

産や債権債務状況を記した会計書類の提出を求めているが、いまだ提出されておらず、見極めに苦慮している。
早急に法的手段に訴えて、その場で責任の有無と債権回収について判断していただくよう県や弁護士と協議している。

一般質問

代表質問



日本共産党久慈市議員
おの でらかつ や
小野寺勝也 議員

その他の質問項目

- 健康長寿社会実現のために
- 商店リニューアル助成制度の導入について
- 中心市街地の活性化について
- 位置指定道路の整備促進策について
- 持家住宅建設、取得祝金制度の導入について
- 学校司書の配置について
ほか

※関連する質問は15ページに掲載しています。

労働条件の改善めざし公契約条例制定を

市長―県の検討状況を注視し並行して検討する

【質問】公契約条例の制定は、市が発注する公共工事や委託業務で働く労働者の賃金、労働条件の最低基準を設定し、仕事の質の向上や地域経済の活性化を図ることを主な目的としたものである。
全体の底上げを図るうえでも制定すべきでは。

【答弁】現在、岩手県では労働条件の確保だけでなく、理念型条例の検討を行っていると同っており、市としても並行して検討を進める。

【質問】今年6月に介護保険法が「改正」され、要

支援者が介護給付によるサービスから除かれ、市が独自に行う日常生活支援総合事業等に移されることとなった。特別養護老人ホームへの入所を、原則、要介護3以上とするのは問題であると思

うが、制度「改正」で介護サービスを後退させない取り組み方法は。

【答弁】必要な施設整備が図られるよう、久慈広域連合と協議していき、要支援者等に対する効果的、効率的な支援に取り組んでいきたい。

【質問】道路整備に対する

市民の要望は強く、市長公約でも道路整備促進を掲げている。この市民要望にこたえるためには、これまでと同じ対応では間に合わず、予算上も体制上も充実が必要と考える

【答弁】市民協働道路維持補修事業を充実させるため、今年度の予算を増額補正し対応している。

道路整備は大事な課題であり、事業の拡大や体制についても今後検討していく。

歴史民俗資料室の常設公開を

【質問】旧長内中学校の歴史民俗資料室は、児童生徒が歴史民俗資料に身近に触れることで、現在を知り、未来を展望するう

【答弁】教育委員会としても常設公開の必要性は強く認識しており、市長部局と協議して進めていく。



常設公開が望まれる歴史民俗資料室

議会日誌

8月

- 1日 くじ市議会だより第36号発行
- 久慈地区市町村議会連絡協議会定期総会
- 4日 議会改革推進会議 会派代表者協議会
- 7日 議会運営委員会
- 19日 議会改革推進会議 岩手県市議会議長会「知事を囲む懇談会」議案・事務事業説明会
- 22日 議会改革推進会議 岩手県市議会議長会
- 23日 議会改革推進会議 岩手県沿岸都市議会連絡会議総会
- 26日 議会改革推進会議 会派代表者協議会
- 28日 議会改革推進会議 岩手県沿岸都市議会連絡会議総会
- 29日 議会改革推進会議 岩手県沿岸都市議会連絡会議総会

9月

- 2日 本会議（一般質問）
- 3日 本会議（一般質問）
- 5日 各常任委員会
- 9日 決算特別委員会

10月

- 10日 決算特別委員会 会派代表者協議会
- 12日 議会改革推進会議 本会議
- 30日 第1回久慈地方森づくり大会
- 1日 議会改革推進会議 東北市議会議長会事務局長会議（10日）
- 9日 議会改革推進会議 議員全員協議会
- 10日 議会改革推進会議 議員全員協議会
- 21日 広聴広報特別委員会
- 23日 議会改革推進会議
- 30日 全国広域連携市議会協議会理事會
- 31日 東北市議会議長会理事會



一般質問

各会派の関連質問

～市政を問う～



一般質問

各会派の関連質問

～市政を問う～

新

政

会

政和会



新
政
会
上山 昭彦 議員

長内土地区画整理の廃止後は

【質問】長内地区土地区画整理事業の都市計画決定廃止後は、早急に長内地区の整備に取り掛かってほしいが具体的な事業の考えは。

【答弁】県知事と協議を進めており、9月中旬頃回答が出ると廃止が決定する。個別の事業導入を進め、要望が多く用地の絡まない雨水排水対策を計画し、できれば来年度から一部でも工事を始めたい。



新
政
会
木ノ下 祐治 議員

人口減対策に市民意識改革を

【質問】久慈市の人口が減り、第1次産業が衰退していくのは、市民が久慈市を適切に見ていない意識にある。市民が久慈市を好きになり、子どもが夢を持つ地域を考える場合、意識改革が必要だと思ふが。

【答弁】久慈市の魅力を各世代に伝え、地元定着を強く語りかけ、その誘導策もきちんと考えていくことが必要である。



新
政
会
中塚 佳男 議員

飲酒運転防止の啓発運動を

【質問】飲酒運転による久慈管内の検挙率が非常に高いことから、飲酒運転防止の啓発運動は、防災行政無線や交通指導員等を活用して行うのが効果的と思われるが。

【答弁】「これぐらい飲んでも大丈夫だろう」等、運転手のモラルの低さが大きな問題と聞いている。機会あるごとに警察署や関係団体と連携して、さらに啓発に努める。



政
和
会
砂川 利男 議員

市道川又橋場線整備見通しは

【質問】久慈側から工事を進めているが、危険箇所のある山形側からも工事を進めることはできないか。

【答弁】山形側に狭くて危険な場所があることは把握しており、できれば、久慈、山形の両方向から工事を進めたい。しかし予算に限りがあるため、基本的には危険箇所から優先的に改修していくという考えを進めていく。



新
政
会
泉川 博明 議員

水産基盤整備事業について

【質問】小袖漁港は、しげになると荷さばき所の岸壁を波が越えるため、防波堤北側の低い箇所をかさ上げし、漁港内の静穏度向上の実現に向け早急に事業着手すべきと思ふが、見通しは。

【答弁】計画では平成27年度に着手し、延長66m、高さ2.4mのかさ上げを行い、平成28年度内の完成を予定している。



新
政
会
澤里 富雄 議員

土砂災害で避難意識の強化を

【質問】土砂災害警戒区域の指定率が低く、生命財産を守るためには指定率を上げ、市民が土砂災害警戒区域の認識を共有することが必要だと考へるが対策は。また、ハザードマップを活用しての取り組みは。

【答弁】法律改正が進み、指定率を上げることで避難警戒体制等の整備に寄与する。新たなハザードマップを活用し防災意識向上を図る。



政
和
会
小倉 建一 議員

新野球場建設への取り組みは

【質問】スピード感を持って新野球場建設に取り組むべきと考へるが。

【答弁】市長部局と教育委員会で協議し、野球場を含む必要な運動施設、面積、規模、概算経費等について教育委員会で詰める。それを受け、建設にかかわる窓口、担当部を市長部局に設け、施設建設の進め方、財源の確保等について市長指示のもと精力的に取り組む。

政
和
会



政
和
会
大沢 俊光 議員

小袖保育園付近の市道認定を

【質問】小袖保育園、漁村センターの施設に通ずる市道三崎線からの道路を市道認定すべきでは。

【答弁】市道認定に当たっては、地元とも協議していきたい。住宅が密集していない方の約100mの道路は、市道認定すべく事務を進めている。住宅密集地の幅員の狭い道路の認定はできないが、その理由などを十分説明したい。

創
政
会



創
政
会
下川原 光昭 議員

保健推進委員の役割は

【質問】各種健康診断における保健推進委員の活動内容は

【答弁】保健推進委員は市内で180名ほどおり、健康診断を受診するよう個別訪問を行っている。そのほか、保健に関する啓発活動を行いながら、市内全体の保健活動の推進に協力をいただいている。

清
風
会



清
風
会
畑中 勇吉 議員

久慈湊になぜ危険タワーか

【質問】防災研究者は、住宅街中心から海側の避難タワーは危険だと警告している。耐用年数30年のタワー建設よりも同じ1億円の予算で、高さ9mの盛土の上に、130坪の平場造成とスロープ等設置の方が防災機能は高い。計画の見直しは。

【答弁】住民賛同のもとタワーを建設するもので、平成27年完成に向け取り組む。見直しは難しい。

日
本
共
産
党
久
慈
市
議
団



日
本
共
産
党
久
慈
市
議
団
城内 仲悦 議員

学校司書の配置について

【質問】学校司書は幅広い本や資料を収集し、本の紹介や相談にのるなど、学ぶことの楽しさを体験できるように応援する仕事である。ぜひ、学校司書の配置を。

【答弁】学校図書館法が改正され、配置への努力義務が課せられた。来年度から施行になることから、法律の内容を確認し実施に向けていきたい。



創
政
会
下館 祥二 議員

閉校になった校舎の活用は

【質問】学校統合により閉校となった校舎の活用を広く検討すべきでは。

【答弁】地域外の方からも活用計画を立てたいという意見をいただいているが、基本は地元で考えている。有効活用に向けて地元の方にも入っていただき、前向きに取り組むべきことと考へる。



清
風
会
高屋敷 英則 議員

ラジオの難聴解消について

【質問】災害時の情報収集にラジオは最も有効で、かつ、健康福祉面でも多くの効用がある。長期的に医療費の抑制にもつながるラジオの難聴解消を早期に実現すべきでは。

【答弁】情報格差の解消は大きな課題だと考へており、難聴解消は積極的に取り組む必要がある。また、ラジオは脳の活性化にも効用があると認識している。



総務委員会

●調査期間 平成26年7月1日～7月3日

当市も今後、避難タワーの整備が予定されており、また、海拔表示の設置は当市でも早期実施が可能なることから、焼津市の取り組みは非常に参考になるものだと思います。

- ◆静岡県焼津市 防災対策について
- ◆京都府南丹市 再生可能エネルギーの活用について
- ◆京都府京都市 伝統産業・文化の振興について

◎静岡県焼津市

「防災対策について」

南海トラフ巨大地震が発生した場合、焼津市では地域の約2割が浸水し、人口の約1割の1万1千人もの死者がでるものと想定されています。「静岡県地震・津波対策アクションプラン2013」では想定される犠牲者数を今後10年間で8割減少させることを目指しており、そのため焼津市では、地震・津波への防災対策を進めています。

主な対策として、①津波避難タワーを21基設置。②高台への避難路や照明設備の整備。③市内全域での避難訓練の実施。④電柱への海拔表示の設置。⑤住宅等の耐震化。⑥海岸堤防の整備。などがあります。



津波避難タワーを視察する総務委員会

教育民生委員会

●調査期間 平成26年7月16日～7月18日



説明を受ける教育民生委員会

- ◆千葉県袖ヶ浦市 総合型地域スポーツクラブについて
- ◆長野県佐久市 世界最高健康都市構想について
- ◆長野県小諸市 保健推進委員会の取り組みについて

◎長野県佐久市

「世界最高健康都市構想について」

長野県は全国でも有数の健康長寿県であり、その中でも佐久市は「世界最高健康都市構想」を打ち上げ、他に類を見ない健康な都市を目指しています。

佐久市では健康寿命を伸ばすための取り組みとして、「びんころ運動推進事業」を行っており、特に栄養相談、食育の推進、「びんころ食」の普及など、食生活の重要性に注目した健康づくりに力を入れています。

また、佐久市における介護保険申請者の主要要因の1位が認知症であることから、医療機関や介護サービス、地域の支援機関を繋ぐ役割として、市役所内に認知症地域支援推進員を配置し、医療と介護の連携を強化しています。健康長寿の取り組みは長野県下共通の取り組みであることから、岩手県でも県内で統一した健康づくりに取り組むべきであると感じました。

産業建設委員会

●調査期間 平成26年7月7日～7月9日

- ◆北海道函館市 コンベンション支援の取り組みについて
- ◆北海道厚沢部町 素敵な過疎のまちづくり事業について
- ◆北海道福島町 農林水産業担い手支援条例・企業振興条例について
- ◆北海道北斗市 議会改革の取り組みについて
- ◆北海道北斗市 新函館北斗駅周辺整備について

◎北海道函館市

「コンベンション支援の取り組みについて」

学会・協会等が主催するコンベンション（＝会議、集会）では、参加者の観光消費額が一般観光客に比べて高く、経済効果が期待できます。そこで函館市ではコンベンション推進課を設置し、積極的に誘致を進めています。

市の取り組みとして、①首都圏等の学会等への誘致活動。②開催検討団体等への情報提供や事前視察の受け入れ。③補助金交付や歓迎看板設置、車体広告での開催宣伝による主催者支援。などがあります。

これにより、函館市では年間60件以上の誘致を行い、毎年3万人ほどの誘客を実現しています。会議規模の検討や地域の魅力発信の工夫次第で、当市でも推進が可能な事業であると感じました。



説明を受ける産業建設委員会

◆「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書

概要 平成23年8月に一部改正された障害者基本法において、「全ての障害者は、可能な限り言語(手話を含む)」その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保されるとともに、情報の取得又は利用のための手段についての選択の機会の拡大が図られること。」と定められた。手話が音声言語と同様な言語であること

を広く国民に示し、日常生活、就労、教育の場で手話を使った情報の提供等が保障され、手話が必要とする人が自由に社会に参加できる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要であると考える。手話は日本語を音声ではなく手や指、体

などの動きや顔の表情を用い、独自の語彙や文法体系をもって表現する言語であり、手話を使用する聴覚障がい者(児)にとって、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段である。よって、次の内容を盛り込んだ「手話言語法(仮称)」を制定するよう強く要望する。1 聴覚障がい者の家族や身近な人たちに、手話に関する情報提供を行うとともに、手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話を使用することのできる教育環境づくりを進めること。2 手話が音声言語と同様な言語であることを広く示すとともに、国民が手話に触れ、手話を習得できるための環境づくりを進めること。

◆「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」継続を求める意見書

概要 東日本大震災で被災をし、経済的理由により就学等が困難な子どもを対象に、国による就学支援等が行われている。幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援

学級・学校、私立学校、専修学校・各種学校に対して自治体を実施している既存の就学支援事業等において、震災により対象者増や単価増が見込まれるため、自治体の新たな負担を全額国費で国が負担・支援するもので、2011年度の国の補正予算において、2014年度まで必要な支援ができるよう「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」が創設された経緯がある。

事業対象の子どもの数は全国において3年間で17万8427人であり、久慈市においても今年度、小・中学生60人以上が対象となっており、支援の継続が必要な状況である。また、学校現場からも制度の継続を望む声が出ている。

このような状況をふまえ、次の事項が実現されるよう強く要望する。1 東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、引き続き2015年度以降も全額国費で支援する「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」を継続すること。

◆消費税10%への引き上げ反対の意見書

概要 本年4月より消費税率が8%となり、住民の生活と景気に大激震を与えている。総務省が発表した5月の家計調査では、消費支出が前年同月比8%減り、減少率は4月の4.6%から拡大、東日本大震災があった

2011年3月のマイナス8.1%以来の落ち込みとなり、増税による深刻な影響は誰の目にも明らかである。それにもかかわらず、政府は夏場に向けて経済を強め、その夏場の経済指数をふまえて12月初旬にも来年10月からの消費税10%を決定するとしている。

しかし、たとえアベノミクスによってマクロ的経済指標が向上することがあっても、経済格差の広がりや顕著であり、中小企業・労働者を土台とする国民経済は、一方で年金等社会保障削減の影響を受け、さらなる消費税増税は一層の深刻な消費不況を招き、地域経済に計り知れない影響を与えることは必死である。それは全体としての税収減を招き、財政再建にもまったく逆行する。

これ以上の消費税増税は、地域の中小企業倒産、失業者増大などの地域経済の壊滅的打撃を与える。このような状況をふまえ、次の事項が実現されるよう強く要望する。1 消費税10%への引き上げをしないこと。

「議会報告会と市民との意見交換会」を開催しました

7月に市内8地区で開催

久慈市議会では、今年3月に施行された議会基本条例の中で、市民参加と広聴広報活動の充実を目的として、議会審議における経過や結果を周知するための議会報告会を、年1回以上開催することとしています。

これまでも試行で開催してきましたが、条例施行後の初めての議会報告会と市民との



侍浜公民館での報告会

意見交換会を7月30日に久慈地区・小久慈地区・大川目地区・宇部地区の4会場で開催し、翌31日には、長内地区・夏井地区・山形地区・侍浜地区の4会場で開催しました。合計8地区の会場でおよそ90名の方にご参加いただきました。

各会場では議会報告として、今年3月に施行された議会基本条例（通称「見え見え条例」）について紹介し、6月定例会の予算特別委員会、総務委員会、教育民生委員会、産業建設委員会で審議された議案などについての報告・質疑が交わされました。

その後、市民の方々と、当市が抱える諸課題に対し意見の交換を行い、様々なご意見ご提言をいただきました。

今回の開催にあたっては、議員の名前が分からないのご意見があったことから、各会場の対応議員の顔写真をチラシに掲載し、分かりやすくしました。

説明は、分かりやすくコンパクトな説明を心がけ、スライド等を使用した資料作りを行い、報告を行いました。

今後は、さらなる市民参加と広聴広報活動の充実を目指して年2回開催することとし、細かな議会報告と市民の声の吸い上げに力を入れることで、市民の方々に関心を持っていただき、議会活動への反映と活性化に努めてまいります。

ご意見・ご感想

- 参加者が少ないので増やす工夫が必要でないか。
- 報告会を今後も継続して欲しい。
- 意見交換の時間が短すぎるので、時間配分の工夫をしてほしい。
- 各委員会の視察内容を聞きたい。
- うわべの話でなく、市民の聞きたい内容を報告してほしい。



宇部公民館での報告会

- 政策課題をもっと掘り下げてほしい。
 - 地域の問題に耳を傾けてほしい。
 - 成果、課題がわからない。
 - 簡単に、わかりやすく説明してほしい。
 - 配付資料をもっと見やすいものにしてほしい。
 - 市政報告会と同じで、工夫が必要である。
 - 議員の考えを前に出してほしい。
- 頂戴したご意見・ご感想を基に今後改善に努めます。

次回、皆様のご参加をお待ちしております

編集後記

広聴広報特別委員会

委員 泉川博明

第19回定例会は8月28日に始まり、9月12日まで開かれました。今定例会は一般質問、補正予算、請願等のほか、中心となる平成25年度の決算審査でも活発に議論が交わされ、すべて可決・認定となりました。

また、2日間にわたり議会報告会を市内8地区で実施しました。課題としては参加者の不足が挙げられます。

お盆明けには、やませ土風館で第1回目の「かだつて会議」が開催され、参加者から好評を得ました。

さて、県北地方最大級の久慈秋まつりでは、クライベダ市からの訪問団が祭りに参加するなど、連日、大観衆の中大いに盛り上がりました。

早いもので東日本大震災から3年と7カ月が経過しましたが、今後も市民一丸となって復興・飛躍に取り組んでいかなければなりません。市民の皆さまのさらなるご指導、ご助言をお願いいたします。



再生紙と大豆インクを使用しています

平成26年11月1日 (18)